



藤花だより

令和5年度2月号
令和6年1月31日
さいたま市立大宮西中学校
TEL048(624)4339
<https://omiyaniishi-j.saitama-city.ed.jp>

「校歌誕生」

～輝く未来・あふれる未来・はぐくむ未来～

校長 森角 由希子

学校の歴史を綴る様々な資料の中に、記念誌があります。本校の創立10周年記念行事の企画として、当時の様子を知る先生方や歴代PTA会長の皆さんによる懇話会の様子が記念誌に残されています。その中に、校歌について触れている興味深い内容がありましたので、概要を御紹介します。

本校正門を歩いて右側にある歌碑は、当時の吉田副会長が寄付してくださいました。初代の加藤教頭が、吉田副会長と筑波山の裏の石屋へ何度も通い、たくさんある石の中から一つを選び出し、地元の書家の方に歌詞を書いていただいたそうです。また、秦市長（大宮市）に、作詞家の白鳥朝詠氏を御紹介いただき、初代土橋PTA会長、二代目小沢PTA会長が、お二人で何度も白鳥氏の御自宅へ通われたそうです。その御縁で、作曲者については、市川昭介氏を白鳥氏に御紹介いただいたとのことです。そして、落成式の際には、市川氏が来校し、自ら体育館でピアノを弾きながら歌唱指導をしてくださったそうです。



記念誌に記された当時の様子から、多くの地域の皆様が、本校の創立を待ち望み、たくさんのお力をいただいたことに深く感謝するとともに、胸が熱くなりました。

校歌は、その学校の教育理念、地域の歴史、学校周辺の自然や環境、未来への希望・理想等が詞の内容に盛り込まれているものですが、両氏もこの大宮西中の地を訪れ、豊かな自然にふれると共に、学校関係者や地域の皆様のお話を伺いながら作詞・作曲されたと思われます。そして、軽やかにスイングするリズム、後半にのびやかに跳躍する旋律から、はつらつさやのびやかさが感じられ、歌詞にある大宮西中が目指す「未来」を象徴しているように思います。

本校の校歌の制定日は、昭和51年2月9日です。保護者、地域の皆様に支えられ、お陰様で来年度は創立50周年の節目を迎えます。先輩から歌い継がれた校歌の歌詞にもある「輝く未来」へこれからも変わらず目指してまいります。

校歌

作詞 白鳥朝詠
作曲 市川昭介

一、友がいる 語らいがある
そこに希望が湧いてくる
これからの日本を担う
若い瞳に輝く未来

友よ友 手をたずさえて
いざ行かん 世界の広場
大宮西中学校

二、はな藤花が咲く 月日が移る
そこに時代がやってくる
これからの日本を築く

若い力にあふれる未来
友よ友 互いの道を
いざ行かん 世界の広場
大宮西中学校

三、人がある 交わりがある
そこに世界が待っている
これからの日本のために

若い心にはぐくむ未来
友よ友 信じて強く
いざ行かん 世界の広場
大宮西中学校

※白鳥朝詠（しらとり ちょうえい）氏、市川昭介（いちかわ しょうすけ）氏は、数々のヒット曲を生み出し、昭和の歌謡史を彩った作詞・作曲家です。また、本校以外にも、さいたま市内には、両氏に校歌の作詞・作曲を依頼した学校もあります。